

子育て応援事業 ☺ にこたむ fes. オンライン

11月1日、親子で楽しめるイベント「にこたむ fes.」がオンラインで開催されました。子育て世代のお父さんやお母さんが、安心して子育てができる環境づくりの推進を目的に、NHKの番組「おかあさんといっしょ」に出演していた体操のよしお兄さんのリモート親子体操や料理家の本田よう一さんと一緒に市特産品のさつまいもや新米、鬼みそなどを使った「さつまいもの茶きん」や「リゾット」を作るオンライン親子クッキングを楽しみました。

そのほか、本田市長をはじめ、よしお兄さんも東京から審査に参加した、子どもたちの素敵な笑顔のフォトコンテストも行われ、参加した親子はオンラインという新しいかたちで楽しい時間を過ごしました。

イベントの様子は、市のホームページやYouTubeで12月末まで見ることができますので、ぜひご覧ください。市ホームページはこちら▶



母子モ 「田村市子育て応援にこたむ」 子育て支援アプリ

子どもの成長記録を保存もちろん写真も！

予防接種の適切な日を自動表示

離れて暮らす家族とも情報共有

乳幼児健診や子育てイベントのお知らせをお届け！

妊娠から出産、育児までをアプリでフルサポート

利用料無料！



▲ダウンロード

新型コロナウイルス感染症拡大防止対策 感染リスクが高まる「5つの場面」

【場面1】 飲酒を伴う懇親会等

- 飲酒の影響で気分が高揚すると同時に注意力が低下する。また、聴覚が鈍くなり、大きな声になりやすい。
- 特に敷居などで区切られている狭い空間に、長時間、大人数が滞在すると、感染リスクが高まる。
- 回し飲みや箸などの共用が感染リスクを高める。



【場面2】 大人数や長時間におよぶ飲食

- 長時間におよぶ飲食、接待を伴う飲食、深夜のはしご酒では、短時間の食事と比べて、感染リスクが高まる。
- 大人数、例えば5人以上の飲食では、大声になり飛沫（ひまつ）が飛びやすくなるため、感染リスクが高まる。

【場面3】 マスクなしでの会話

- マスクなしに近距離で会話をすることで、飛沫（ひまつ）感染やマイクロ飛沫（ひまつ）感染での感染リスクが高まる。
- マスクなしでの感染例としては、昼カラオケなどでの事例が確認されている。
- 車やバスで移動する際の車中でも注意が必要。



【場面4】 狭い空間での共同生活

- 狭い空間での共同生活は、長時間にわたり閉鎖空間が共有されるため、感染リスクが高まる。
- 寮の部屋やトイレなどの共用部分での感染が疑われる事例が報告されている。



【場面5】 居場所の切り替わり

- 仕事での休憩時間に入った時など、居場所が切り替わると、気の緩みや環境の変化により、感染リスクが高まることもある。
- 休憩室、喫煙所、更衣室での感染が疑われる事例が確認されている。



季節行事に参加する際の感染防止策徹底のお願い

多くの人が集まる季節行事（クリスマス、大晦日、初日の出、初詣など）では、一人一人が新型コロナウイルス感染防止策を徹底することが重要です。これまでの形式にとらわれず、新しい生活様式を取り入れましょう。

- 季節行事に参加される場合には、基本的な感染防止策を徹底しましょう。基本的な感染防止策が徹底されていない季節の行事への参加は控えましょう。自然発生的に不特定多数の人が密集し、かつ、大声の発生を伴う行事、パーティーなどへの参加は控えましょう。
- 主催者がいる場合には、当該行事の主催又は参加に当たっては、適切な対人距離の確保、手指消毒、マスクの着用、大声での会話の自粛など、適切な感染防止策を徹底しましょう。
- 街頭や飲食店での大量または長時間、深夜にわたる飲酒や、飲酒しての季節の行事への参加は、なるべく控えましょう。
- 必要に応じて、家族同士で自宅を過ごす、オンラインのイベントに参加するなどの新しい季節の行事の楽しみ方を検討しましょう。

